



○ 2100

高いセキュリティが求められる公共施設にも多数採用されている、キーレックスのスタンダード商品です。

左:キーレックス2100 P.20
右:キーレックス1100(受注生産) P.24

キーレックス 2100 自動施錠

材質 亜鉛合金

仕上 WB(シルバー)・AB(アンティックブラス)

標準扉厚 30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~70mm)



22403・22423M

カバー取付例

施錠の方法

自動施錠の場合
扉を開けると自動的に施錠されます。

面付本締錠の場合
室外側からはロックターン、室内側からはサムターンを丁番と反対側に回すと施錠されます。

解錠の方法

■ 室外側から

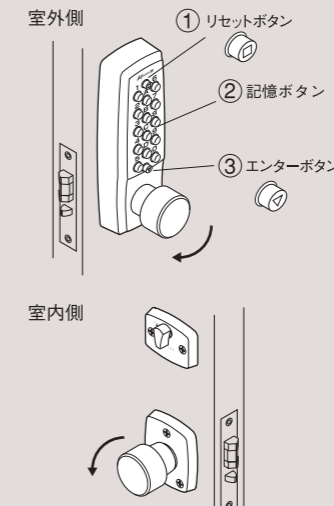
- ① リセットボタンを押し、リセットします。
- ② 記憶ボタンを押します。
(記憶番号は14桁まで任意に設定できます。)
- ③ エンターボタンを押します。
- ④ ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。

* 操作後、エンターボタンが戻った事を確認して下さい。
* 鍵付タイプの場合は、キー操作で開扉できます。

■ 室内側から

自動施錠の場合
ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。
(アンチバニック機能付)

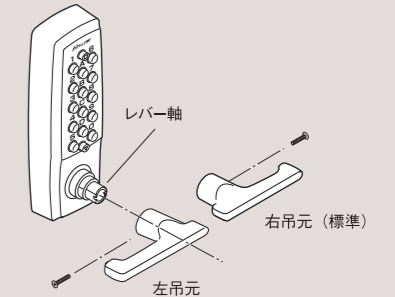
面付本締錠の場合
サムターンを丁番側に回して扉を開けます。



* デッドロック機能への切換方法は、P.04をご参照下さい。

左右吊元の変更 (標準品は右吊り元です)

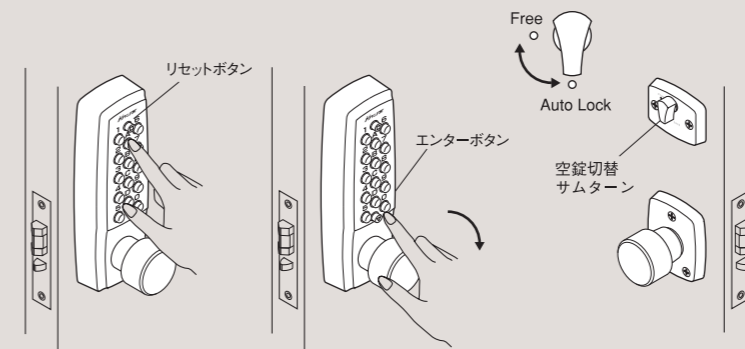
左吊元の場合は、レバータイプのみ、レバーハンドルの向きを変更してください。



* 錠は、ラッチ・トリガーの形状が左右対称で吊元変更の必要はありません。

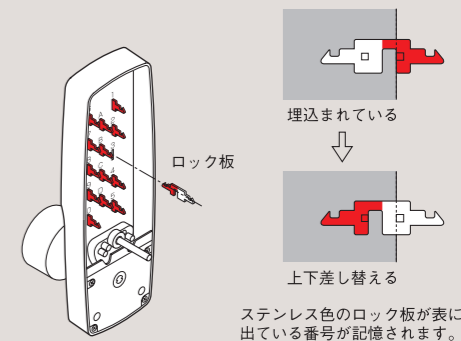
空錠への切換 (扉を開けても錠がかからない状態[空錠]にできます。)

- ① 扉を開けた状態でリセットボタンを押してから記憶ボタンを押します。
- ② エンターボタンを押したままの状態、③の操作をします。
- ③ 室内側の空錠切替サムターンを[Auto Lock]から[Free]に切換えます。



記憶番号の変更

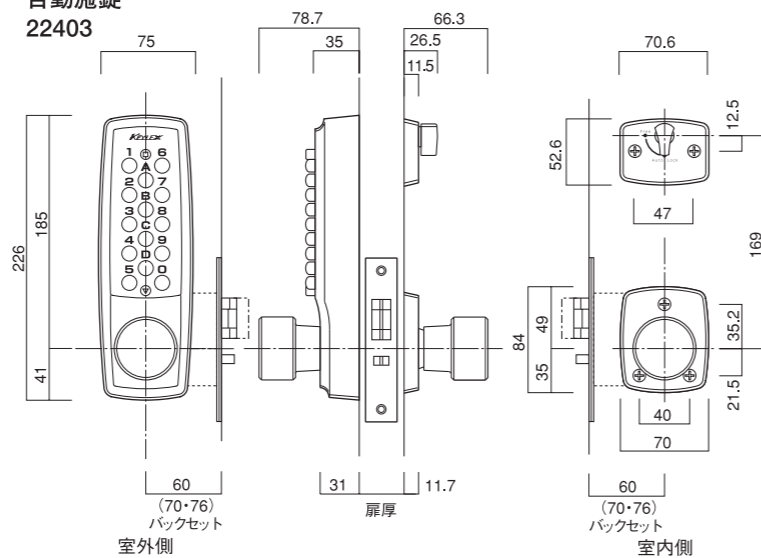
新しく記憶させる番号のロック板をステンレス色が見えるように、上下差し替えます。



ノブ自動施錠 (22403)

室内側

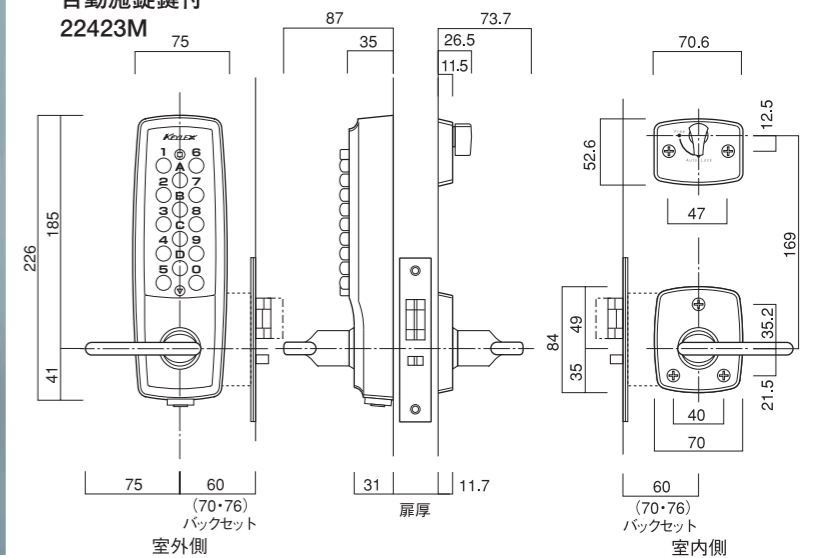
自動施錠 22403



レバー自動施錠鍵付 (22423M)

室内側

自動施錠鍵付 22423M



KEYLEX[®]

キーレックス 2100 面付本締錠

材質 亜鉛合金

仕上 WB(シルバー)・AB(アンティックブラス)

標準扉厚 30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~70mm)



22404・22404M



面付本締錠鍵付 22404M

